

2021年4月以降の入学者の皆さんへ

「研究力向上セミナー」の実施と学生からのセミナーの提案について

岩手連大では、2022年度から講義科目として「研究力向上セミナー」（選択・1単位）を開講しています。この講義科目は2021年4月以降の入学者が履修できます。

講義の概要：本講義は、学生の主体性のもとで選択・受講できる科目として、統計手法、論文の書き方等のセミナーを提供し、博士学生の研究力向上を図ることを目的としています。連大等で開催するセミナー（1回100分相当）を7回以上聴講し、セミナー毎にレポートを提出することで1単位が付与されます。単位の取得を希望しない方も聴講できます。

研究力向上セミナーには、以下の4つのタイプがあります。

（1）教員企画セミナー（オンライン）

教育企画セミナーは、連大として企画する「論文の書き方セミナー」、「キャリア支援セミナー」の他、研究分野別・課題別に連大教員が企画するセミナー等で、オンラインで提供されます。単位を取得する場合は、このタイプから3回分（300分）以上のセミナーの受講が必要です。

（2）大学企画セミナー（対面・オンライン・ハイブリッド）

大学企画セミナーは、各構成大学で企画される学術セミナー等のうち、連大として学生の研究力向上に資するセミナーとして認めたものが対象です。該当するセミナーについては、連大事務室までお問合せください。

（3）学生提案セミナー（オンライン）

学生提案セミナーは、連大学生が企画してほしいセミナーを連大に提案し、研究科長の許可を得て実施するオンラインセミナーです。このセミナーを希望する学生はセミナー企画書を提出する必要があります。実施手順等は公募案内をご覧ください。

（4）研究交流セミナー（オンライン）

研究交流セミナーは、類似した専門分野で研究活動しながら交流の機会が少ない連大構成大学の学生が集い、自らの研究内容を交流するオンラインセミナーです。専攻または連合講座単位で3大学の連大学生が集う内容で企画することが原則ですが、他の専攻や連合講座の学生の参加も認めます。参加学生は、全員発表を必須とします。参加学生数の制限はありませんが、100分以上のセミナーとして企画することが必要です。このセミナーの企画を希望する場合は連大に相談し、担当教員から指示に従ってセミナーを企画・実施することになります。

履修上の留意点と評価の方法

- ・「農学特別セミナー」、「専攻別特論」、「国際学会コミュニケーション」等、連大が開講する科目の全部または一部を「研究交流セミナー」の一部として履修することはできません。
- ・履修期間は1年間とします。やむを得ない場合は2年間に及ぶ履修も認める場合があります。

レポートの提出と評価

- ・レポートは各セミナー受講後、2週間以内に所定の方法で提出してください。
- ・7回分（計700分）のレポートを提出し終えたら、受講リストを提出してください。
- ・成績評価は、提出されたレポートの内容と聴講回数、時間数等から総合的に判断します。

問合せ先：岩手大学大学院連合農学研究科事務室 rendai2@iwate-u.ac.jp

2024年度 研究力向上セミナー（学生提案セミナー）公募案内

学生提案セミナーは、連大学生が企画してほしいセミナーを連大に提案し、研究科長の許可を得て実施するオンラインセミナーです。このセミナーを受講した回数と時間数は、「研究力向上セミナー」（選択・1単位）の一部としてカウントされます（2021年4月以降入学の学生のみ）。

提案できるセミナーの条件

1. セミナー予定日の1か月（30日）前に企画書（別紙）を提出していること。
2. 連大学生の研究力向上が期待でき、講師の候補者を含めて内容が具体的であること。
3. 2名以上の岩手連大学生による共同提案であること。
4. 教員や修士課程学生を含めて10名以上の受講者が見込まれること。
5. オンラインセミナーとし、すべての連大学生が聴講できること。
6. 質疑応答の時間を含め100分以上で企画すること。
7. セミナーの司会、進行は連大学生が行うこと。

連大からの支援

セミナー講師に岩手大学の規定による謝金を時間数に応じて支援します。

*講師の構成大学への招へい旅費等は支給しません。

セミナーの提案・実施手順

学生が企画書を、実施予定日の1か月前までに連大事務室へ添付ファイルで提出



連大（専門分野の教員等）による確認、提案学生との相談を経て企画の内容を確定、通知



連大はメール等でセミナーの開催をすべての連大学生に通知し受講者を募集



セミナー当日のオンライン主催者は連大で担当。提案学生がセミナーを進行



単位を取得しようとする連大学生は、セミナー実施後2週間以内にレポートを提出

*レポートの提出方法については別途指示します。

問合せ先：岩手大学大学院連合農学研究科事務室 rendai2@iwate-u.ac.jp

研究力向上セミナー（学生提案セミナー）企画書

項目	記入欄（赤字は記入例）
提出日	2023年5月25日（木）
提案学生氏名（学籍番号） 所属連合講座 配属大学 連絡先アドレス	岩手 太郎（U〇〇〇〇〇〇〇〇） 植物生産学連合講座 岩手大学 〇〇@Iwate-u.ac.jp
共同提案学生（配属大学） 提案学生数	岩手 花子（岩手大学）、弘前 次郎（弘前大学） 山形 三郎（山形大学） 代表者を含め 計（ 4 ）名
セミナーのタイトル	〇〇学分野におけるデータの収集・分析手法の実際（仮）
セミナーで学びたい事柄	・データの収集方法の選び方、気を付けるべきこと。 ・データ分析で用いる統計手法の種類と選び方。 ・投稿論文にどこまで研究手法を具体的に書くべきか。
希望する講師の情報 氏名・所属・役職 アドバイスの必要性等	東北 学 氏（東北大学〇〇学部・教授）または 東京 教 氏（東京大学〇〇学部・准教授） *その他、適任者についてアドバイスがほしい。
希望開講日程（時間数） *原則、平日の9時～17時 *企画提出から1か月以降	2023年6月26日（月）15：00-17：00（2時間） *講師の都合によって6月中に企画
学生等受講見込み人数 （10名以上）	岩手大学：修士学生を含め6名以上 弘前大学：修士学生、教員を含め5名以上 山形大学：修士学生、教員を含め3名以上 計（ 14 ）名以上 受講見込み
その他 連大への連絡、相談事項等	オンラインでのセミナーの進め方について助言がほしい。

*赤字の記入例を上書きして企画書を作成してください。

*セミナーの日程は、以下の既存の講義日程（6月以降）を考慮して設定してください。

6月19日(Wed)～21日(Fri) June 19-21	農学特別講義（日本語） Special Lectures in Agricultural Sciences(Japanese)
7月16日(Tue)～17日(Wed) July 16-17	生物生産科学特論（英語） Advanced Seminars in Bioproduction(English)
7月18日(Thu)～19日(Fri) July 18-19	生物生産科学特論（日本語） Advanced Seminars in Bioresources(Japanese)
8月22日(Thu)～24日(Sat) August 22-24	科学コミュニケーション(弘前) Science Communication Camp <Hirosaki University>
11月13日(Wed)～15日(Fri) November 13-15	農学特別講義(英語) Special Lectures in Agricultural Sciences(English)
11月20日(Wed)～21日 (Thu) November 20-21	地域環境創生学特論（英語） Advanced Seminars in Regional Environment Creation (English)

*その他、講義以外でも連大の主な行事の日程とは重ならないよう設定していただく場合があります。